

「知」の集積による産学連携推進事業のうち バイオエコノミー推進人材活動支援事業

我が国では、2019年に「2030年に世界最先端のバイオエコノミー^(※)社会を実現」することを目標に掲げる「バイオ戦略」が政府により策定され、持続的な経済成長と気候変動や社会課題の解決に向け、バイオ関連市場（バイオ製造、一次生産等、健康・医療分野）の拡大に向けた取組が推進されてきたところ。

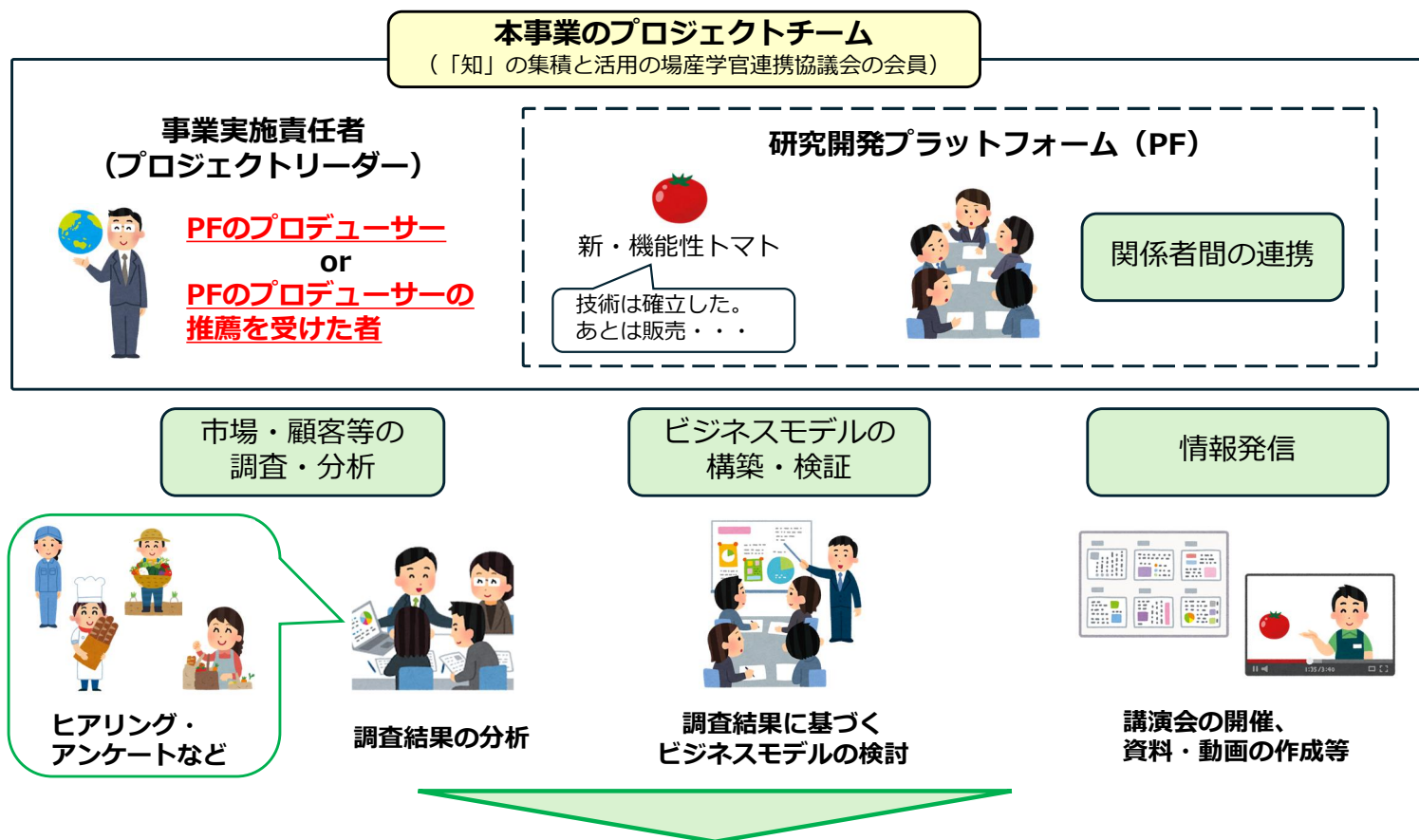
また、バイオエコノミー市場の拡大に向けて、国内外から人材・投資を呼び込み、市場に製品・サービスを供給するための体制を強化し、世界市場に進出していくことが必要である。

このため農林水産省では、「知」の集積と活用を場の研究開発プラットフォーム活動によって生み出された技術の社会実装を目指し、令和3年度より本事業で研究成果の商品化・事業化に向けたビジネスモデルの構築・検証等の取組を支援している。

本事業では、研究開発プラットフォームの研究成果について主に以下の3点を実施。

- ✓ターゲットとする市場・顧客の特徴や規模等の調査・分析
- ✓顧客への聞き取りから得られたニーズ等を踏まえた商品化・事業化に向けたビジネスモデルの構築・検証の実施
- ✓顧客や消費者等を対象とした講演会や意見交換会等の開催、資料や動画の作成等による情報発信

(※) バイオエコノミーとは、バイオテクノロジーや再生可能な生物資源等を利活用し、持続的で、再生可能性のある循環型の経済社会を拡大させる概念。



研究開発プラットフォームの成果の商品化・事業化